



学会ホームページ <http://jasce.jp>

030号(2016年3月10日)

目次

日本学術会議協力学術研究団体の指定

認定ワークショップに「マスター(上級)」コース新設

学会ワークショップ 今後の予定

会員情報の変更届け

会費納入のお願い

協同教育研究推進プロジェクト

・国際シンポジウム

・英語授業ワークショップ

ワークショップ「プチ体験:大学で協同学習を学ぶ」

講師派遣サービスについて

各地の研究会・勉強会

出版情報

日本学術会議協力学術研究団体の指定

日本協同教育学会は2月26日付けで日本学術会議協力学術研究団体の指定を受けました。これは本会の学術研究活動の質の高さが認められたことを意味します。学会誌『協同と教育』に掲載される論文、創立以来途切れることなく開催される全国大会での研究発表など、会員の皆様の研究活動が評価されたわけです。この朗報を励みに、皆様と共に更なる協同教育の研究と発展に努めて参りたいと思います。

日本協同教育学会

会長 関田一彦

認定ワークショップに

「マスター(上級)」コース新設!

日本協同教育学会の認定ワーク

ショップとして、これまで「ベーシック(初級)」「アドバンス(中級)」がありましたが、かねてから要望が強かった「マスター(上級)」を新設することになりました。いずれも連続する2日間のプログラム(10~12時間)で、当学会の認定トレーナーならびに講師が指導します。「マスター(上級)」は2017年3月開催の予定です。ワークショップの開催スケジュールは詳細が決まり次第、学会HPやニュースレターでお知らせします。

学会HPのワークショップ情報は随時更新されますので、最新の情報をご確認ください。

<http://www.jasce.jp/>

1031workshop.php

学会ワークショップ

今後の予定(判明分)

●ベーシック

3月12日(土)~13日(日)【主催】

会場:別府市男女共同参画センター あす・べっぶ 2F会議室

講師:秦喜美恵・安永悟

3月20日(日)~21日(月)【主催】

会場:創価大学(八王子市)教育学部棟4階 受付B405教室

講師:太田昌宏

5月28日(土)~29日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

講師:水谷茂・杉江修治

7月30日(土)~31日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)教育学部棟4階 受付B405教室

講師:水野正朗

8月27日(土)~28日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)D棟

講師:長濱文与・石田裕久

●アドバンス

3月20日(日)~21日(月)【主催】

会場:創価大学(八王子市)教育学部棟4階 受付B405教室

講師:伏野久美子

7月30日(土)~31日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)教育学部棟4階 受付B405教室

講師:久保田秀明

11月12日(土)~13日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)D棟

講師:関田一彦・石田裕久

※受付状況は日々変化します。お申し込み方法は以下のアドレスにあります。

(<http://www.jasce.jp/>

1031workshop.php)

会員情報の変更届

年度がわりの異動や転居などともなって、所属・住所・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会ホームページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。

(<http://www.jasce.jp/>

php/1044form.php)

会費納入のお願い

今年度(2015年4月~2016年3月)会費支払いがまだの方は早急の納入をお願いいたします。3年度を超えて会費が未納となった場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。特に、今年は3年に一度の役員選挙があります。3月末時点で会費完納な方が選挙・被選挙の対象になります。

JASCE

協同教育研究推進プロジェクト

● 国際シンポジウム

2月27日、日本協同教育学会と創価大学協同教育研究推進プロジェクトとの共催で、「協同教育の展望と課題」をテーマにした国際シンポジウムが創価大学で開かれました。パネリストは国際協同教育学会(IASCE)会長 Lynda Baloché 先生と名古屋大学准教授の Sarkar Arani Mohammad Reza 先生でした。

Lynda 先生からは、協同学習の中で、所与の作業を進めるという「Task」だけではなく、社会的・情緒的關係を築くことに焦点化した「Maintenance」に、より重きを置く重要性が紹介されました。そして、授業



内で Maintenance のためにしっかりと決まった時間を取って取り組むこと、その際に、「集団の改善手続きや省察、プランニング」や「社会的スキルの育成」といった要素に注目した働きかけが重要であることが示されました。

Arani 先生からは、歴史的観点や国際比較的観点から今の日本の教室文化が学び合いに対してどのような制約条件を持っているか、またその制約条件をどのように乗り越えていくべきかについて紹介されました。

今回の企画は国際シンポジウムという名前の通り、非常に幅広い視点での話題提供・意見交換があり、これまで考えたことがなかった視点も示される、非常に価値ある時間となりました。

(中西良文 三重大学)

● 英語授業ワークショップ

2月28日(日)、英語で授業を行っている先生を対象にした Lynda

Baloché 先生による協同学習のワークショップが開催されました。参加者は24名で、Developing Critical Problem-Solving Skills in Cooperative Context という観点からいくつかの技法を体験しました。中でも Blind Hand や Gallery Tour は様々なコンテキストに応用できるものでありました。グループで課題に取り組み、一緒にグループ間での作品評価活動を行うことにより、短時間でしたがグループの結束が高まりました。また正解のない課題設定の重要性を再確認しました。2時間があっという間に過ぎてしまった大変充実したワークショップでした。(和田珠実 中部大学)



● ワークショップ

「プチ体験：大学で協同学習を学ぶ」

2月4日に、文京学院大学外国語学部(東京都文京区)FD委員会主催の「プチ体験：大学で協同学習を学ぶ」という80分のワークショップが行われました。外国語学部、保健医療技術学部、経営学部、教職センターの教員28名が参加し、協同学習の原理と方法を学びました。専門分野も違いますし、多くの方々が初対面でしたが、なごやかでオープンな雰囲気の中で、共に学ぶことの楽しさや価値も体験いたしました。それは、講師でいらっしゃる関田一彦先生のワークショップの運営の仕方やお人柄によるものだったと思われます。人数や授業内容など多種多様な授業の中で、協同学習を通して、知識や技術だけでなく社会で生きていく力を育てる大学の役

割に関してのお話も印象に残りました。懇親会では参加された皆さんの質問に丁寧に応じて頂きました。協同学習への道筋をつけてくださってことに感謝し、この機会を今後に生かしていきたいと思います。(椿まゆみ 文京学院大学外国語学部)



● 講師派遣サービスについて

上記記事、文京学院大学FD委員会によるワークショップの例のように「協同学習やアクティブラーニングについて理解を深めるために、研修講師を招きたい」といったニーズをお持ちの

方は、学会の「講師派遣サービス」をご活用ください。

教員研修や校内研修等における指導助言や講演講師の派遣を希望する場合は、学会事務局に派遣申請をしてください。ご要望に適任の講師を当学会会員の中から推薦し、お知らせします。学会事務局は講師のご紹介のみを致します。その後の講師派遣に係る事務手続は、依頼される側と講師との間で直接行っていただくことになります。

これに対し、当学会認定トレーナーによる「認定ワークショップ」もしくは「一日研修」の開催を希望する場合は、当会の規程による「講師派遣委託料」と「教材費」並びに「交通費・宿泊費(実費)」が必要です。詳しくは学会事務局にお問い合わせください。

(<http://www.jasce.jp/1034haken.php>)

JASCE

各地の研究会・勉強会

(東京・関東地域)

協同教育カフェ in 八王子

2月14日(日)13:30から16:30、創価大学教育学部棟で開催しました。いつものように、少人数ながら協同学習の実践家が集まっての熱い学び合いに時の経つのを忘れるひと時でした。

今回は3月30日(水)13:30から、教育学部棟B303教室で開催します。これから協同学習を始める方も含め、新しい仲間との出会いを待っています。

連絡先: 関田一彦

(sekita@soka.ac.jp)

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇1月例会の報告

1月31日(日)13:30~17:30、久留米市立南筑高等学校(福岡県)の石山信幸先生(数学)を名古屋にお招きしてアクティブラーニングの実践研究会を開催しました。会場は名古屋大学教育学部第3講義室。参加者は50名を超え、会場は満杯でした。発表タイトルは「協同教育としての数学授業づくり」。石山先生の目標は「生徒の成長」です。生徒が考える時間を最大限確保して教科書理解を徹底的に進めるユニット制によって授業が加速していくことが紹介されました。さらに、いまの授業スタイルに至るまでの数年にわたる苦闘が語られ、授業づくりの根幹に「協同の精神」を据えることの大切さが実感されました。



◇3月例会の報告

3月5日(土)17:30~20:30、ICTを活用した授業の実践家であり、理論家としても知られる鈴木映司先生(静岡県立葦山高校:地理)に来ていただいて授業研究会を行いました。会場は名古屋大学教育学部第2講義室。テーマは「高校AL授業におけるICT活用」でした。アクティブラーニングにおいてICTを活用することの可能性と課題について議論しました。学びにとって何が大切かという本質は変わらないにせよ、生徒と教師が、時間や空間の制約に縛られず、情報発信、情報共有、情報更新ができる時代が来たことで、授業の枠組みそのものが変わっていくことが予見されました。

連絡先: 水野正朗

(mizunokita@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

1月29日(金)19時から、関田一彦会長をお迎えしグランフロント大阪で開催しました。参加者は千葉、東京、名古屋、福井、鳥取、岡山、兵庫、大阪、京都から定員オーバーの29名で、終了後の懇親会にも多くの方が参加されました。前半では、緒方と牧野典子先生が第35回日本看護科学学会学術集会で行った交流集会「看護教育におけるアクティブラーニングとしての協同学習法の意義と可能性」の結果を報告、梅花女子大学的那須さとみ先生がジグソー学習法を用いた演習授業の実践報告をされ、全体で意見交換しました。後半は関田先生が参加者からの質問、①協同学習における評価の水準と方法、②ベシックとアドバンスのワークショップの違い、③大学教育における学生の集団



づくりなどに対し、明快且つ参加者の心に染み入る協同教育の講義をして下さいました。3月18日の研究会では、参加者同士で次年度の授業に向けた意見交換をする予定です。

◇今後の開催予定

2016年度の開催は、①5/27、②7/22、③9/30、④11/25、⑤1/27、⑥3/24に決定しました。参加をお待ちしています。

連絡先: 緒方巧(梅花女子大学)

t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇協同学習研究会EXTRA

1月23日(土)13:30~15:30、岡山大学教師教育開発センター東山ランチで開催しました。参加者は35名でした。今回のEXTRAは「個集研: 個を生かし集団を育てる学習研究協議会」の岡山支部(会長: 國府島知子先生・岡山市立御南小学校長)の例会との共催でした。「協同学習」のひとつの考え方として、日本の授業実践に確固たる地位を築いてきた「個集研」の理論・考え方について高旗が講話を行いました。

JASCE

各地の研究会・勉強会 (つづき)

◇第4回協同学習研究会

3月5日(土)14:00~17:30, 岡山大学教師教育開発センター東山ランチで、第4回協同学習研究会を開催しました。参加者は48名でした。鳥取県立智頭農林高等学校の濱崎公嗣校長先生による学校概要説明につづき、同校の武部拓郎先生に授業映像の提供をして頂きました。1年生の国語「季節の言葉と出会う」という教材による授業でした。2つのグループ活動の詳細な様子を含め、60分に及ぶ映像記録を視聴し、学習指導案と逐語録等をもとに、3~4人組の小集団で検討・協議しました。若く熱心な武部先生の授業と、今回の発表に向けての資料づくり(映像の編集や逐語録の作成)を含め、校内の先生方のバックアップについてもご紹介頂きました。少人数かつ様々な課題を抱える生徒たちと向き合った真摯な取り組みから、多くのことを学べた機会となりました。なお、当日は杉江修治先生にもご参加頂きました。「授業者と生徒たちとの

信頼関係が、生徒の主体的な参加を引き出した素敵な授業」という講評を頂くとともに、「良さに気づく授業観察」のための視点の置き方や読み解き方についてお示し頂きました。

◇今後の開催予定

平成28年度の開催日程が決まり次第、お知らせします。参加を希望される方は、事前に高旗までメールでご照会ください(会場の関係で定員を設定しています)。また、当会で実践発表を希望される方は高旗までご連絡ください。

連絡先: 高旗浩志

(岡山大学教師教育開発センター
takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇2月研究会の報告

2月研究会を2月20日(土)、13時から久留米大学御井キャンパス・学生会館ミーティング=ルーム3で開催しました。研修のテーマは「LTD学習

法による講演の聴き方」でした。小川雅広先生(山口県地方自治研究センター)による講演「長寿の克服—その克服に何が求められるのか?」を聴き、LTD過程プラン(特に関連づけ)を意識しながら講演内容を深く理解しました。また、参加者一同で本年度の振り返りを行い、杉江修治先生(中京大学)からコメントとエールをいただきました。

◇今後の開催予定

2016年の開催予定は次の通りです。5月7日(土)、9月24日(土)、11月26日(土)は午後1時~午後5時。7月23日(土)は協同教育フェスタで午前10時~午後5時。会場は久留米大学御井キャンパスです。各イベントの参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします。

(<http://yasunaga.me/wiki.cgi>)

連絡先: 安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

出版情報

●教育評価との付き合い方——これからの教師のために

教育評価の実践的入門書が出ました。学び手の成長をたすける評価のあり方について考える本です。筆者は、「評価」と「教育評価」を区別し、



「評価=事実特定(検査・測定)+価値判断(結果解釈・判定)」、「教育評価=事実特定+価値判断+励まし」のように分けて考えています。関田一彦・渡辺貴裕・仲道雅輝著。さくら社。

●ドイツの協同学習と汎用的能力の育成: 持続可能性教育の基盤形成のために (人間文化研究叢書)

筆者がここ数年、ドイツの協同学習について書き溜めてきた論考をまとめた論文集です。ドイツという異国の取

り組みを参考に、日本のこれからの考えさせてくれます。特に、目標面からのアプローチとして興味深いと思います。原田信之著。あいら出版。



各地でワークショップや研究会が精力的に行われています。学会HPでご確認ください。

また、会員による実践研究会等の開催や本の出版等がありましたら広報委員会(koho@jasce.jp)まで情報をお寄せください。